

R7 年度 第 5 回地域活性化部会議事録			
日時	R7 年 8 月 2 3 日 (土) 18:00～19:00	場所	川棚公民館 第一会議室
参加者 (敬称略) 白木康隆、藤村整市、山田浩視、樽本勝一、長野辰男、正富秀男、藤本武史、明智 実、西村淳子、長野定信、計 10 人			
進行：長野定信、記録：西村淳子			
1. JR 川棚温泉駅をきれいにする会の活動 ・ 8 月 2 3 日 (第三土曜日) ⇒ 暑さのため、活動中止。 ・ 次回 9 月 2 0 日 (第三土曜日) 8:30～ ※ 国道側のホームの黒井側に丈の高い雑草が茂っており、JR に対応依頼。 2. 議題 ① 空き家対策 ◎ 正富氏の空き家現況調査その後 ・ 川棚中央 1 区、2 区の自治会長に 3 週間を目途に依頼したところ、7 月末に資料を持参。この間に更地になったり、人が住んだり、変化がある。具体的に可能性のある物件に絞り、今後の需要や目的に沿った形で連絡が取れるようになることが次の目標。 ・ 班長におろすのは、川棚の中央は班の数が多く、自治会長への負担が大きい。今回の情報も、オープンにしてよいものと、できるだけ表に出してほしくないというものがある。とりあえずは自治会長とまちづくり協議会の中にとどめ、動きがあれば、自治会長と次に進めていくというイメージ。 ◎ 市の空き家バンク、とようらナビの紹介 ・ 市の空き家バンクが変わって、地域ごと、金額ごとの検索ができるようになっているが、豊浦町では 9 件しか上がっていない。空き家バンクに登録してもらえるように、働きかけたい。とようらナビに出ている物件は 1 件。 ・ 情報プラザに、空き家バンクの物件を掲示したり、空き家情報の掲示コーナーを作っては。ネットで調べるのもあるが、情報を見える化することも大事。 ◎ 産業振興課がやっている最大 500 万円の補助金の紹介 補助ポータルに、下関市が行っているがあるものを紹介。詳細を調べてみる。 ② 移住者の体験シェア 株式会社スプラウト 藤本武史氏 1. 略歴紹介 2 歳から高校まで豊浦町で育ち、大学卒業後、シャープ株式会社に入社、国内外で営業物流などに携わる。2023 年に退職し、農業で独立 2. 会社の概要 事業内容—農産物・水稻、トマト、スイートコーン、玉ねぎ、はなっこりー、ほうれん草) の生産販売事業 販 売 先—青空市場、マーレ、いただきまーと、JA 出荷：野菜部会、下関給食センター、Web サイト/SNS による販売、県内のゆめまーと 3. 経営理念—農と食で地域社会に貢献する 事業領域—将来は古民家での民泊事業 お米のフィリピン、インドネシアなどへの輸出入、現地生産 4. 中期計画のビジョンマップ (省略) 質疑より抄出 ・ (豊浦町から) 離れていく気持ちは、若者に共通した思い。いろいろあって戻って来て			

気付いたことを、みんなとやっていけたら。

- ・空き家を利用した民泊などもどうか。
⇒宇賀にやっている方がおられ、意外と簡単にできるようだ。
- ・青空市場には出しているのか。
⇒商品には、マークを付けて、青空市場に出しているが、今は出せていない。異常気象の影響で、苗木が枯れたりしている。
- ・農業で生計が立てられる状況か。
⇒実質2年目だが、今期は黒字にはならない。3年目からトントンか。
- ・飲食店への農産物を卸したりはもうしているのか。
⇒飲食店に卸すというより、将来的には飲食店経営をしたい。
- ・農地に海藻をすき込む伝統的な農法を利用しては。農村と漁村の連携をしては。
- ・宇賀のてんの手仕事、H I L I F E (バーベキュー用)、R i n c aさんでの野菜販売、黒井のブルーベリー園、小串のいちじく栽培など、地域の店や農家との連携を。
- ・宇賀小学校の人口増加のための取り組みにも関わっていただけたら。
- ・中学生の職業体験の場を与えてもらえたら。

3. その他

- ・川棚温泉駅の売店への申込が一人あり、藤村会長が運営の実際をレクチャー。出店が認められてからも協力をお願いしたい。移住の件は家族の通勤の件もあり、進んでいない。
- ・室津 甲山観音の縁日(8月10日)、大雨の中で開催。
西川さんの定置網は、餌になる魚が入らず、不漁。
夏祭(8月15日)好天で人も多く売店の売り上げもよかった。サザエのつぼ焼きも市場でのサザエの取引価格の上昇で値上げし、収益が出た。
- ・下関みっけの紹介、来場の呼びかけ
- ・10月11, 12日 川棚温泉駅での24時間ライブ開催、前田市長も来るかも
- ・川棚温泉駅のコミュニティプラザの冷房、新しいお店の情報、豊浦町のマップの紹介

4 次回会議日程

- ・日時：令和7年9月20日(土) 18:00～
- ・開催場所：川棚公民館第一会議室